

視聴覚教育の誕生と 全高放・NHK杯高校コンテスト

ー メディア・リテラシーへの転換か
学習環境デザイナーかー

メディア教育専門委員会(放送専門委員会)

林 直哉 松本筑摩高等学校

視聴覚教育はなぜ始まったか

- 1941年 国民教育令 授業での利用の法制化
- 教育映画の利用(戦後)
 - アメリカ教育映画の大量供給
 - 1948年 日本映画教育協会
 - 1949年 日本学校映画教育連盟
 - 1954年 視聴覚教育研究協議会
- テレビ学校放送(1953年~)
 - 1949年 放送教育研究会全国連盟
 - 1959年 教育テレビ局開局

視聴覚教育はなぜ始まったか 2

- 1953年 学校図書館法 設置と収集物
- 図書・視聴覚委員会
 - 視聴覚教育研究協議会
 - 各学種の 視聴覚教育の礎
 - 放送教育研究会全国連盟
 - 全国放送教育連盟の礎
 - 高校校座と通信制教育・学校教育
- 新聞委員会と放送委員会指導（生徒会連携）

放送コンテストはなぜ始まったか

- 学校放送の指導者講習
 - 放送局（ラジオ局） 専門家
 - 実践指導者
- 機材の見本市
- 実践者交流
- 生徒のスキルアップ

放送教育研究大会 第1回の主催者

- 東京都教育委員会
- 東京都高等学校放送教育研究会
- 高等学校放送文化研究会
- 東京高等学校放送連盟

放送教育研究大会

第1回の 後援

- 文部省・東京都放送教育研究会
- 日本放送協会（NHK）
- 日本民間放送連盟（民放連）
 - 放送局
 - ラジオ東京・日本文化放送協会
 - ニッポン放送・日本テレビ放送網
 - 日本短波放送

第4回大会 日比谷高校大会雑感



8月2日・日程説明



第3回大会 雑感



コンテスト決勝・審査席の汗

協賛企業広告


Tape recorder

学校放送局に
無くてはならぬ

東通工の
テープコーダー

ソニータープ
オートスライド

カタログ贈呈



東京通信工業株式会社
品川区池田4-3-1

澄んだ音色 豊かな音量



マイクの王者

コンデンサー標準マイクロホン
ヴェロシテイマイクロホン
ワリスタルマイクロホン
ヴァイナミックマイクロホン
放送局用ズームスタンド各種

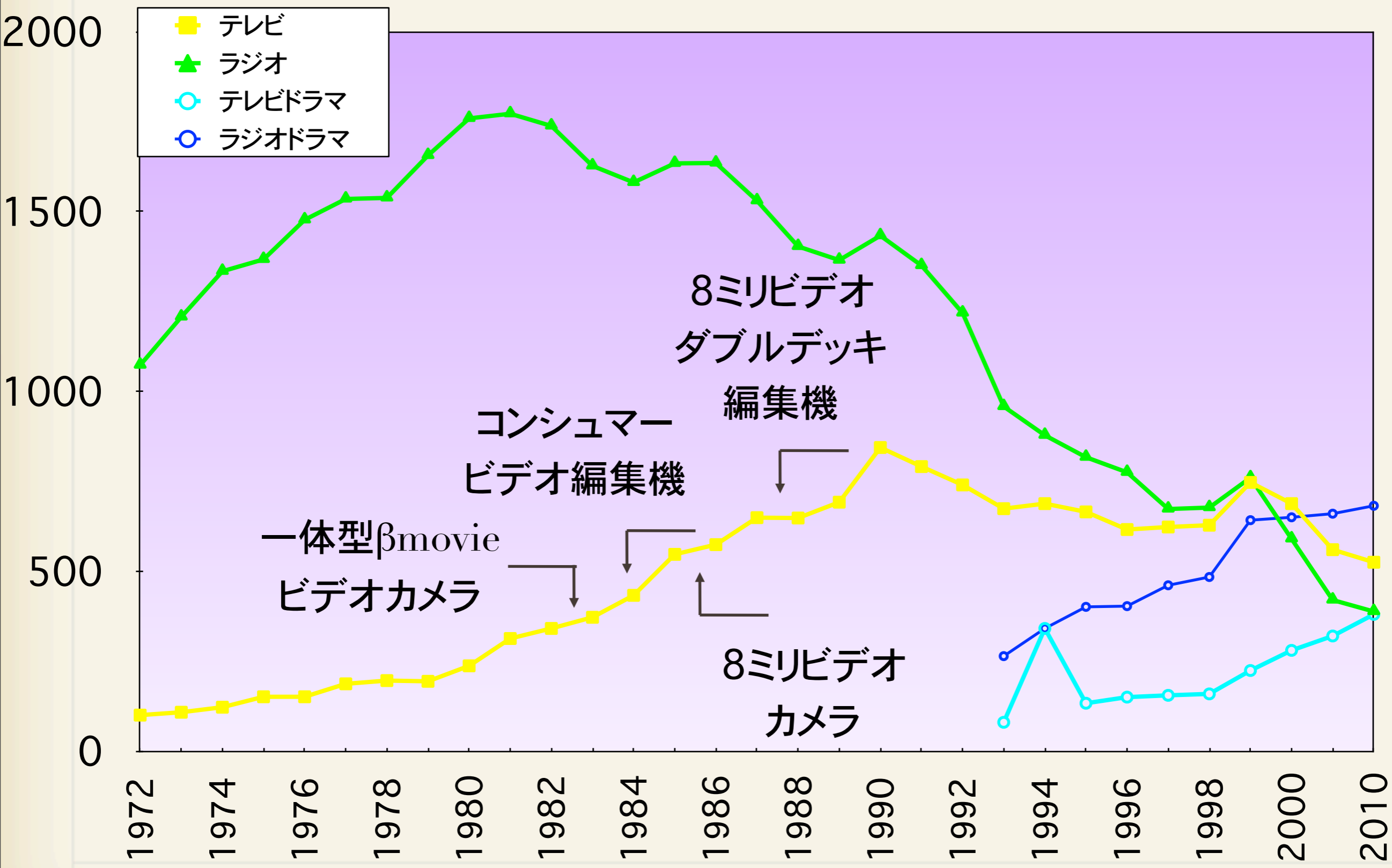
東京 愛興電機産業株式会社 神田

1954年第1回パンフレットより

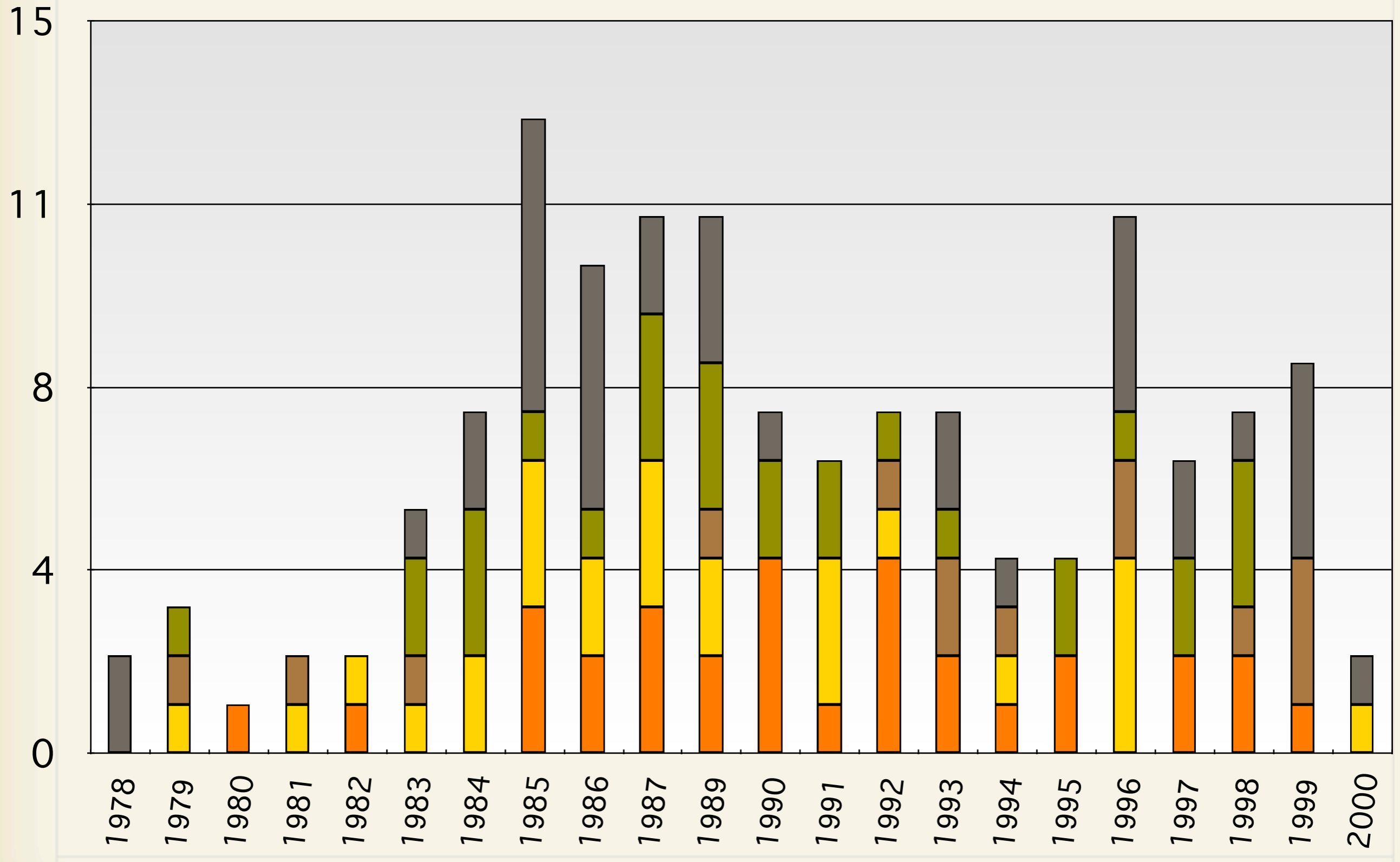
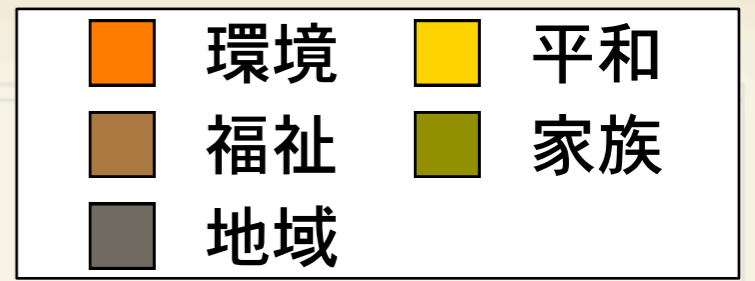
NHK杯放送コンテストの変遷

- 第1期 第1回～5回
 - 東京放送教育研究会（コンテストは附属行事）
- 第2期 第6回～15回
 - 全国高等学校放送コンテスト（コンテスト開始）
- 第3期 第16回～24回
 - NHK杯全国高校放送コンテスト（移動開催）
- 第4期 第25回～46回
 - NHK杯全国高校放送コンテスト（東京固定）
- 現在 第47回～50回
 - NHK杯全国高校放送コンテスト（東京固定/縮小）

変わるメディア（ドキュメントからドラマへ）



25大会以降の特色



データで見る50年 県別入賞数・入賞率

高校数あたりの入賞率

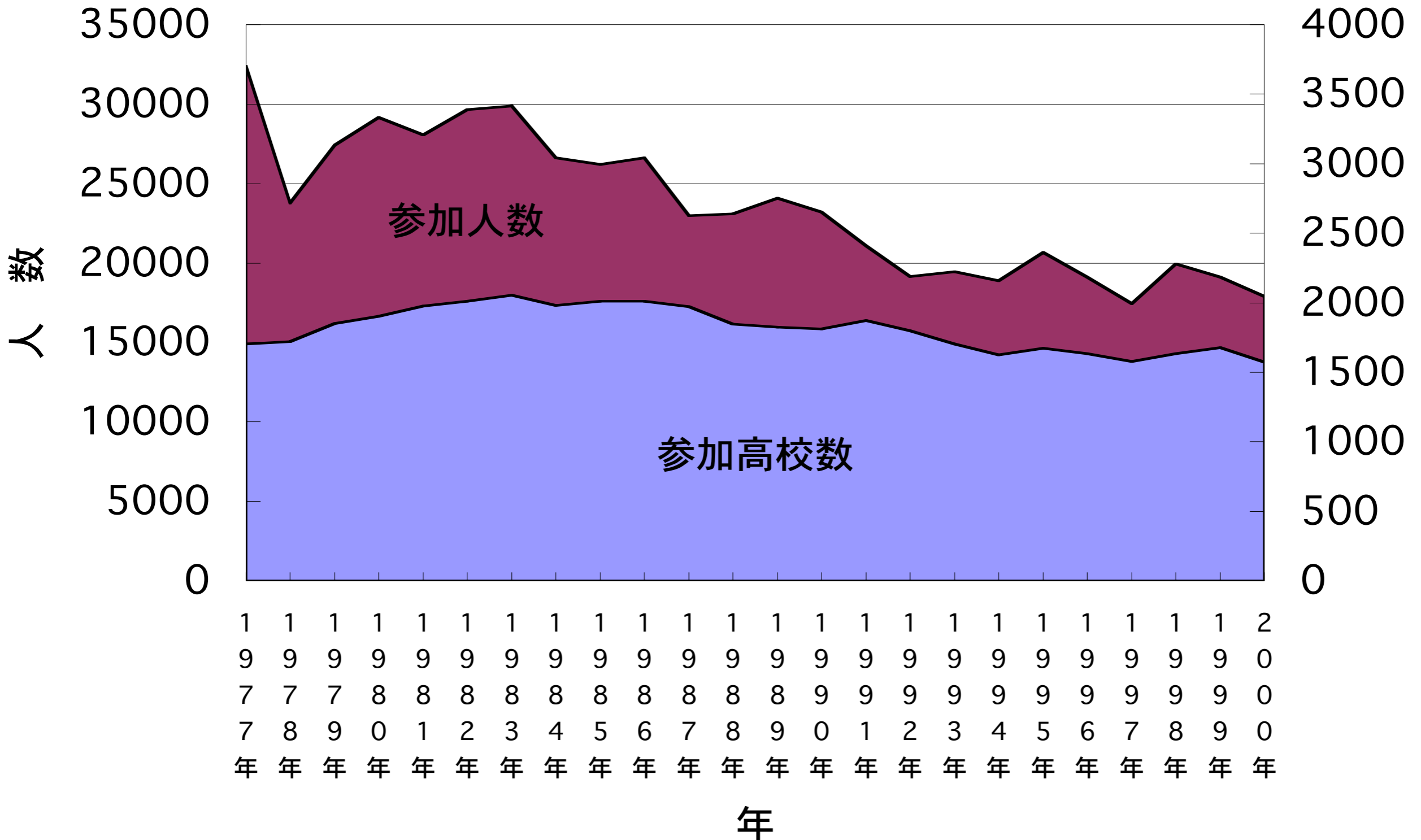
入賞作品数 入賞校数

北海道	128	37	富山県
兵庫県	108	37	長野県
長野県	103	8	青森県
愛知県	96	25	秋田県
富山県	94	17	岡山県
静岡県	82	21	沖縄県
広島県	76	27	静岡県
神奈川県	72	18	広島県
青森県	65	19	福井県
東京都	63	31	愛媛県

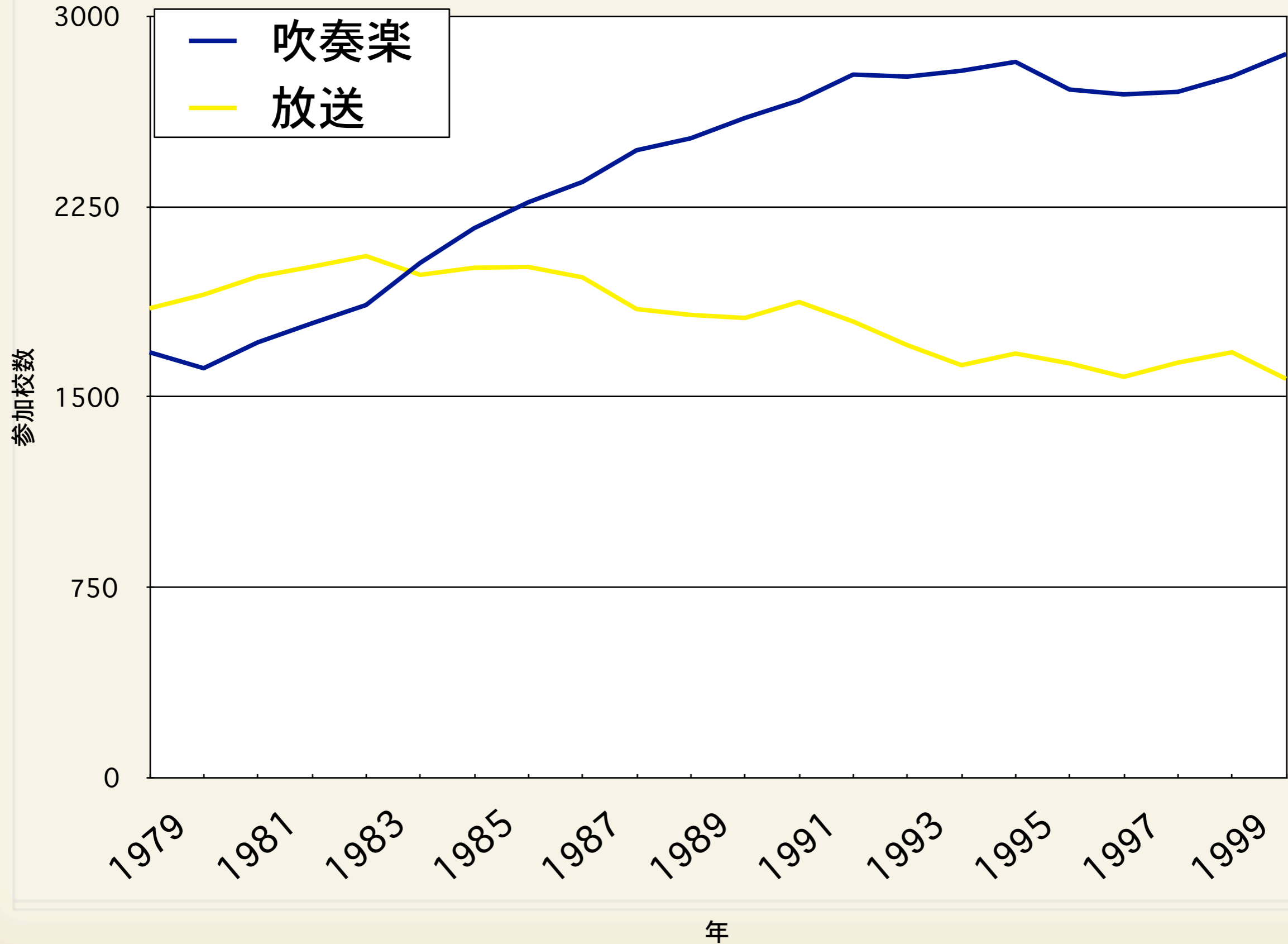
減少する参加者

コンテスト参加者・参加高校の経年変化

■ 参加人数
■ 参加高校数

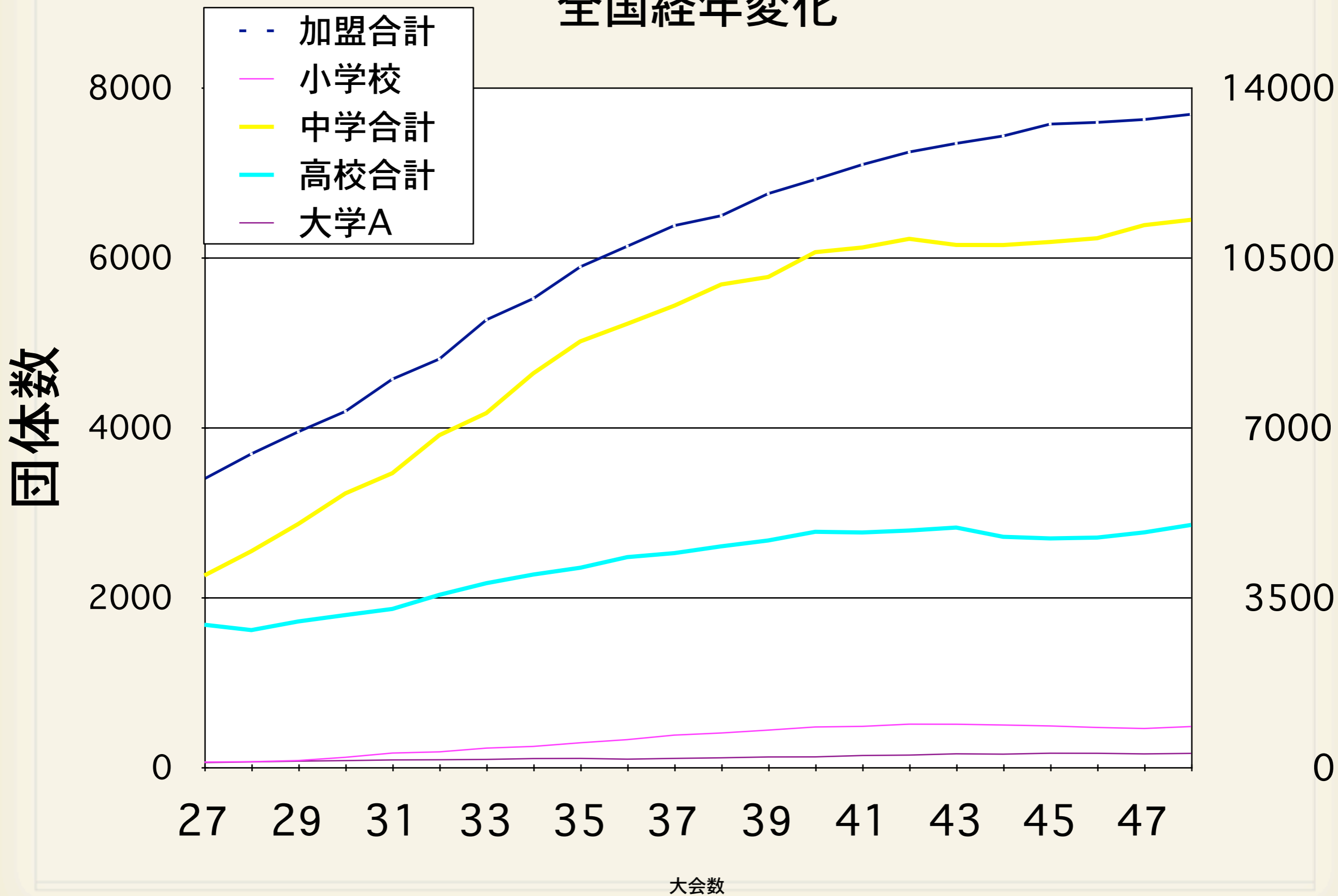


コンテスト参加校数経年変化



全日本吹奏楽コンテスト経年変化

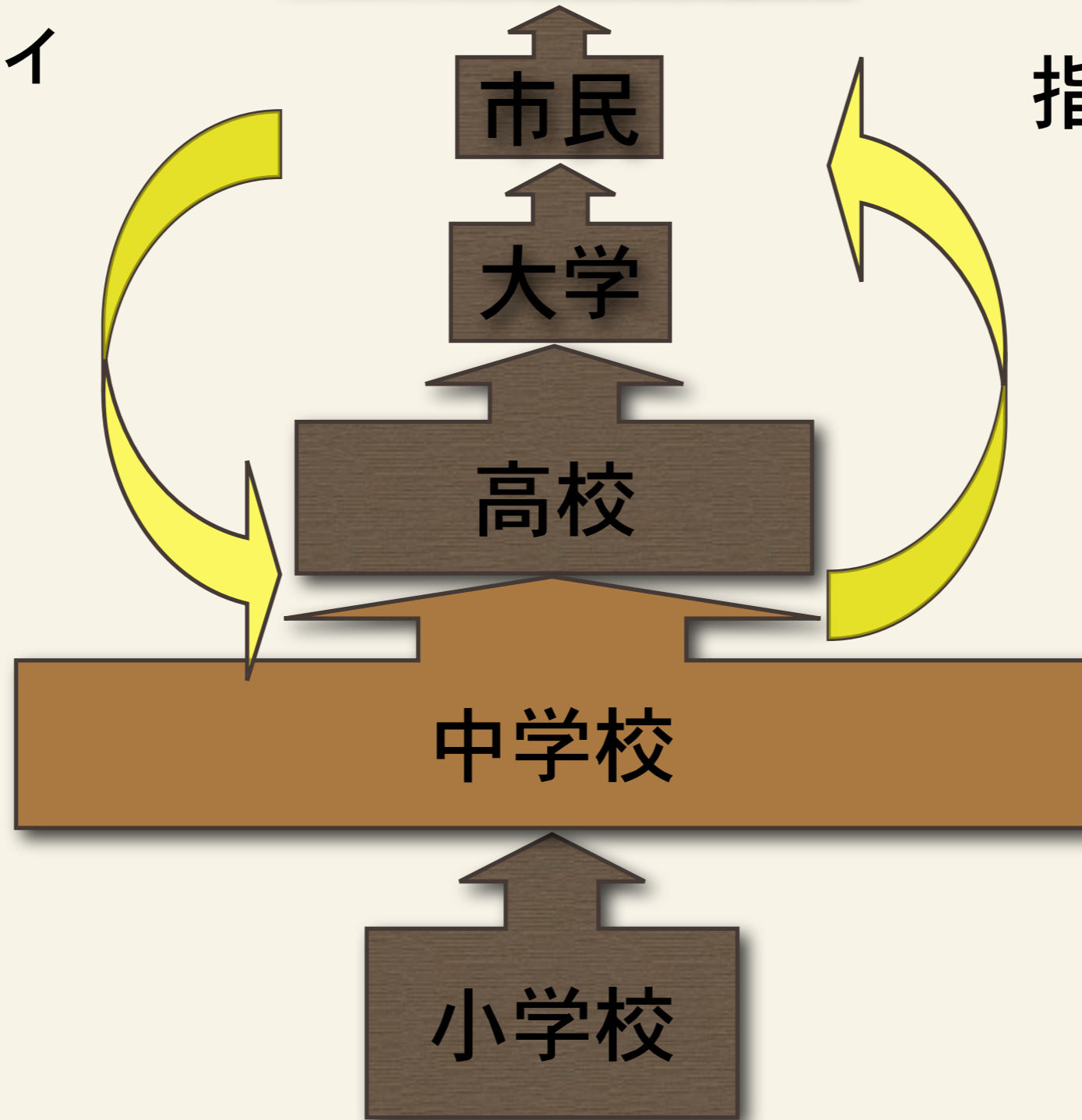
全国経年変化



オーケストラ
管楽器奏者9割

吹奏楽の循環する
コミュニティ

指導者
となる



指導者の7割は
他教科
中学校
参加校増

吹奏楽コミュニティの成功理由

- 指導者育成目的に指導者協会の設立
- ヤマハ財団（楽器制作企業）の協賛
- 学種を越えた指導者コミュニティ形成

メディア教育の課題

- 中学校と高等学校の連続性
 - コンテスト日程や講習会の連携
 - 中学校・小学校の活動の活性化
- 指導者コミュニティの育成
 - 指導者を増やす仕掛け(指導者協会等)
 - 指導者育成プログラムの開発
 - 指導カリキュラムの開発

急がれる指導者コミュニティの育成

- コンテスト活動と指導者講習の連携
- 放送メディアのプロの長期的な関わり
 - 継続的な関わりと教材・テキスト
- 学種を超えた指導者のコミュニティ形成

高視研の到達点と課題

- 図書・ライブラリー・映画・機材・放送
- ニューメディアの呪縛
- 視聴覚教育の教科教育との隔たり
- テキスト至上主義とメディア
- 打破できない経験則（日本の学習観）
- 学習環境デザイン